

黒枝豆 うまみ解禁 丹波篠山



丹波篠山黒枝豆の畑で開かれた販売解禁セレモニー
〓丹波篠山市福住

能できるようにまりました」と販売解禁を宣言した。

解禁日は「本物の黒枝豆を安心して食べてもらいたい」と2006年から設けている。さやの厚さが12ミリの超える食べ頃を市内各地の畑で確認し、解禁日を決めている。

J A丹波ささやまの直売所など市内約100カ所販売している。

丹波篠山市の秋の特産「丹波篠山黒枝豆」の販売が7日、解禁された。少雨と猛暑で生育が少し遅れたものの、黒枝豆を甘くする朝露も9月下旬にみられ、例年通り大粒で味の濃い黒枝豆が収穫されている。今月下旬まで販売が続く。

この日朝、同市福住にある県立篠山東雲高校の農場でセレモニーが開かれた。市農業生産組合協議会の

会長が「生産者が経験と知識を生かして栽培し、今年も秋の味覚を堪能

2023年10月8日
朝日新聞